

## 令和5年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：( 国語 ) 科目：( 現代文B ) 対象：( 第 3 学年 A 組～ F 組 )

科目担当者：( A 組：近原<sup>印</sup> ) ( B 組：近原<sup>印</sup> ) ( C 組：佐藤潤<sup>印</sup> ) ( D 組：近原<sup>印</sup> ) ( E 組：及川<sup>印</sup> ) ( F 組：及川<sup>印</sup> )

教科・科目の 指導目標	さまざまな文章を読み、叙述や描写、文脈などに即して、内容を正しく読み取る力を養う。 自分に照らして読み、生き方・あり方を考え、自分の意見を論理的に表現する力を養い、進路活動に活かす。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	①漢字・語彙に関しては、平均的な数値だが、引き続き繰り返し繰り返し取り組み、常用漢字の読み書き能力の定着をめざす。 ②評論・小説の読解に関しては、問題すべてを解くための時間配分に工夫が必要。	①常用漢字の読み・書き、四字熟語や対義語・類義語、熟語の構成など、繰り返し練習し語彙力を向上させる。 ②基本的な文章の構成パターンを身につけ、内容の把握に活かせるようにする。 ③本文から根拠を見つけ出し、正確かつ効率よく解答を導き出す読解力を身につける。	①漢字・語句は反復練習しプリント提出や小テストなどで定着を図る。 ②プリントや学習課題集による演習形式で読解力を養う。 ③さまざまな文章を読み、自分を見つめ、自己の可能性を探り、未来を拓く力を養うため、学校図書館を活用する。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			